

平成29年度 第2回常任理事会議事録

日 時 平成29年9月16日(土) 13時30分～16時40分

会 場 パルシェD会議室

出席者 出席者40名(欠席17名うち委任状9名)

(役員総数55名、2/3以上の出席または委任状のため成立)

鷺頭会長あいさつ

上半期につきまして、色々な事業を行い各協会には大変お世話になりました。これから下半期に入り各種事業が続きます。どうか皆様にご協力をいただき、事業を成功させていただきたいと思っております。

「議 事」

1. 平成29年度表彰者の選出について

・日本連盟地方功労者

森島光江氏(富士宮)、村中裕紀子氏(沼津)、小林正氏(静岡市)、菊池孝典氏(高体連)の4名から、協議の結果、森島光江氏と村中裕紀子氏の2名に決定した。

・日本連盟優良団体

静岡信用金庫(静岡市)の推薦があり、決定した。

・県連盟功労者

渡部昭五郎氏(焼津市)、尾上雅巳氏(浜松市)、山本連氏(沼津)、三津山克利氏(静岡市)の4名の推薦があり、この4名に決定した。

・県連盟優良団体

北部クラブ(静岡市)、浜岡ソフトテニスクラブジュニア(小学生部会)、富岳ジュニアソフトテニスクラブ(小学生部会)の3団体の推薦があり、この3団体に決定した。

・静岡県体育協会功労者の推薦

浜松市協会・金谷晴子氏の推薦を承認した。

2. 規程等の改訂について(小林総務委員長)

・静岡県ソフトテニス連盟表彰規程

・静岡県ソフトテニス連盟旅費規程

・静岡県ソフトテニス連盟事務費等内規

以上3件について、別紙により提案がされ、提案どおり承認・決定された。

改正については平成29年9月16日からとなる。(県連盟HP参照)

3. スポーツ指導員資格更新研修会について(足立副会長)

第1回目を2月18日(日)掛川市しーすぽで、第2回目を3月10日(土)富士川体育館で実施することが報告された。今年度も、体育協会の資格更新のための義務研修として認められる見込み。講師は選定中。

4. 平成30年度全日本社会人選手権大会の静岡開催について（落合理事長）
 - ・大会日程については、平成30年9月8日（土）～9月9日（日）
 - ・種目は、一般・成年・45各男女の6種目（45がシニアから移行、混合は行わない）
 - ・準備委員会を発足させる。（メンバーは、別紙のとおり決定）

《報告事項》

1. 平成29年度上半期の活動報告（漆畑事務局長）

県連盟主催大会については、全て予定どおり実施した。

国体の東海ブロック大会を花川で行い、静岡の大会成績については全種目第4位でしたが、成年女子は最終戦勝てば優勝、成年男子も最終戦勝てば2位というところまでいき、あと一歩であった。
2. 平成29年度日本連盟定時評議員会報告（落合理事長）

6月12日（日）開催 平成28年度事業報告、決算報告等について報告された。
（日本連盟HP参照）
3. 台湾との親善交流事業について（落合国際交流委員長）

7月24日（月）に実施されたことが報告された。日本連盟より50,000円の補助を受け、県連盟よりの拠出金と合わせ、113,152円の費用で、草薙で実施した。
今後はシニアのみでなく、小学生・中学生を中心の交流を検討していくこととした。
4. 救済申立処理委員会報告（小林委員長）

平成28年度に問題なった事案はない。

指導していくなかでの言葉の行き過ぎなどといったケースがあるので、場所をわきまえてほしいという意見が委員会のなかであった。各協会にも報告願いたい。
5. ソフトテニス週間・愛好者増加対策費、競技者育成プログラム費用について（漆畑事務局長）

申請のあった団体に、案分し交付する。

（ソフトテニス週間…静岡市 15,000円、沼津 30,000円、富士宮 35,000円、焼津市 10,000円）

（愛好者増加対策…静岡市 75,000円、沼津 75,000円）

また、競技者育成プログラムStep1-2補助として、東中西各地域協議会に、100,000円ずつ交付する。
6. その他
 - ・審判委員会報告（伊藤委員長）
 - * 日本リーグの審判派遣について確認

12月15、16、17日に日本リーグが愛知県豊田市で開催され、審判要請があると思

われる。今年度は中部地区から2名参加していただくこととなっている。関係者はご配慮願いたい。

＊2級審判員認定・講習会について（伊藤審判委員長）

中部地区開催予定であった、2月4日（土）を会場都合で、2月25日（日）に変更。
西部地区・東部地区は、別途調整後連絡する。

・会員登録未実施クラブについて（漆畑事務局長）

会員登録が数年されていないクラブがある。各団体は廃部等の確認をして、連絡をいただきたい。

・強化委員会報告（落合理事長）

オール静岡について

少年男女については国体選手が来ることになっているが、それぞれの学校で遠征が組まれ国体選手がいけないという状態となっているのでそれをどうするか見直す。

一般男子は、神奈川県と長野県の国体選手との合同練習会を行った。

小中学生の合同練習にはヨネックスからの2名とスポーツインテリジェンスの市山さんの指導のもと練習を行った。

・小学生委員会報告（渡瀬委員長）

春の全国小学生大会シングルスで塩崎選手が3位に入る。東海小学生選手権では女子個人で2ペアが3位入賞。全日本小学生選手権では男子個人で1ペアが3位入賞となった。

東海小学生の組織について（落合理事長）

東海連盟小学生委員会が発足した。各県から数名委員を選出。静岡県の渡瀬さんが委員長として決定された。

・中学生委員会報告（小野委員長）

8月の東海大会に男女ベスト4に2校入った。そのうち、男子2校と女子1校が全国大会へ出場した。個人はベスト4に男子が1本入った。

県中体連の方針でトレーナーの派遣があり、全国については静岡県の宿舎に泊まり事前の準備段階から指導を受け、選手や保護者から好評をいただいた。

・高校生委員会報告（高橋委員長）

スタッフについて国体は監督・コーチ・主務の3名、Step2に6人を選定している。3人と6人は重複している。女子は、来年度スタッフについては変更予定。男子については検討中。

・レディース委員会報告（片山委員長）

8月の決勝大会についてリーグ4位。シニアレディースが10月に全日本シニアレディース大会が行われる。

レディース強化練習を毎月1回行っている。中三と高三の部活が終了した生徒について練習をしたい場合、レディース練習会に参加が可能である。

秋のレディース大会については、毎年平日主催のため若い選手の参加が少ない。来年度からは土日開催にしたいためコート申請をさせてもらう予定でいる。

市川博副会長あいさつ

熱心なご討議ありがとうございました。今後ともよろしく願います。